

## 小型家電から資源を取り出す

クリーンセンターでは、資源をより有効に回収するために、不燃・粗大ごみの中から小型家電を抜き出し、作業員が分解して資源物を取り出す小型家電分解作業をしています。施設建て替え工事のため一時休止していましたが、令和元年11月から再開しました。また平成30年10月より、市内の公共施設に小型家電回収ボックスを設置していますので、ぜひご利用ください。



小型家電を分解して取り出した基板類。

### 資源を取り出す

電子レンジ、プリンター、掃除機などの小型家電を分解し、電動機類、基板類、コード類、ハードディスクから鉄、金、銀、銅などの希少金属類を取り出し、適正なりサイクルにより、新たな資源として活用されます。

また、クリーンセンターで処理するごみ量を減らすことができます。

### 不適物を取り出す

ごみとして出される家電製品の中には、不燃・粗大ごみ処理施設の発災事故などの原因となっていた処理不適物(電池入り小型家電など)が含まれていることがあります。小型家電を分解することにより、不適物を除去できるようになり、より安全な施設運営につながっていきます。

## まちのできごと どんと焼き



1月11日(土)大野田小学校で、毎年恒例の「どんと焼きとむかし遊び」が、けやきコミセン・緑町コミセン・青少協・あそべえの4団体共催、PTAや消防団の協力により行われました。

受付で門松・しめ飾りなどから不燃物を取り除きダイオキシン対策をしっかりとすうえで、お焚き上げに入れます。各団体が役割を担い、どんと焼きの周囲や体育館を利用し、ペーゴマやかるたなどのむかし遊びやマシュマロ焼きをしました。人力車の試乗・獅子舞いの参加で校庭は大賑わい。寒い中、最後にお汁粉で温まりました。

最初はけやきコミセンだけでやっていたどんと焼きも、年々多くの団体がつながることにより協力者も増え、今では地域の大イベントになっています。

## 委員研修報告 一緒に未来を考える 石坂産業の取り組み

2月7日(金)、クリーンセンター運営協議会の委員研修として、埼玉県入間郡三芳町にある石坂産業=建設廃棄物(木材・コンクリート・土砂他)の処理工場と「三富今昔村」を訪れました。

平成7年に所沢のダイオキシン問題<sup>注</sup>でパッシングが起きたとき、地域とともに自然を守る工場にしよう、騒音・振動・粉塵を出不さないため屋内処理にし、燃やす処理をやめて、現在リサイクル率は98%に。今後も100%をめざしていると説明を受け、工場を見学しました。

不法投棄でいっぱいだった周辺の森を再生し、「三富今昔村」(東京ドーム4個分の広さ)をつくり、「環境教育のフィールド」として子どもたちの体験を受け入れています。「一緒に未来を考える」その取り組みをうかがい、たいへん参考になりました。

注：1990年代、埼玉県川越市・狭山市・三芳町などの地域に産業廃棄物処理業者が集中し、環境汚染が住民を苦しめてきた。平成7年12月高濃度のダイオキシン類が検出されたことからマスコミが大きく報道し、所沢の野菜価格の暴落が起こるなど、大問題となった。

### \*編集後記\*

地球温暖化、異常気象が叫ばれている昨今ですがクリーンセンターの隣では、環境啓発施設エコプラザ(仮称)が秋の開設に向けて進んでいます。周囲の外構工事も進められており、芝生広場、どんぐり広場、歩道も拡張され、緑の多い施設になります。地域だけの施設ではなく、全市民が環境を切り口に学び育む施設になるよう期待します。(高橋豊)

編集・発行/武蔵野クリーンセンター運営協議会  
〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5  
武蔵野クリーンセンター内  
電話：0422-54-1221  
●武蔵野市ホームページ  
<http://www.city.musashino.lg.jp/>

\*この広報は、再生紙を使用しています。

# 武蔵野クリーンセンター 運営協議会 だより 75

## CONTENTS

- P1...武蔵野クリーンセンター運営協議会イベント  
地域で 学ぶ・遊ぶ・つながる
- P3...プラスチックごみのゆくえ
- P4...小型家電から資源を取り出す  
まちのできごと どんと焼き  
一緒に未来を考える  
石坂産業の取り組み

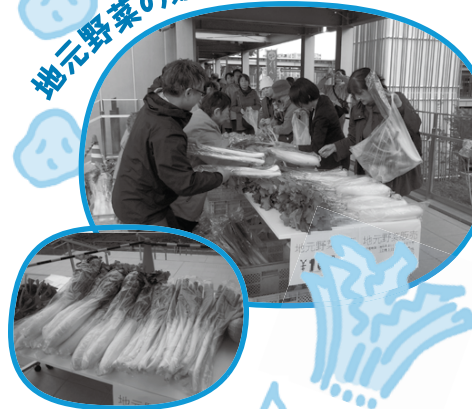


武蔵野クリーンセンター運営協議会とは  
1984年施設建設時に地域住民の安全と権利を守るために設置された  
周辺3地域4団体が参加するクリーンセンター運営の監視役。

## 武蔵野クリーンセンター運営協議会イベント エコマルシェと同時開催

# 地域で 学ぶ 遊ぶ つながる

### 地元野菜の販売



### 武蔵野市立第四中学校吹奏楽部 ミニコンサート



令和元年12月1日(日)武蔵野クリーンセンターで、武蔵野クリーンセンター運営協議会の主催するイベントが「エコマルシェ」(第9回)と同時開催されました。

エコマルシェの会場は工場棟とコミュニティ広場、運営協議会イベントの会場は、来場者を多く集めるねらいもあり隣の新管理棟2階の見学者ホールに設置しました。

運営協議会の催しは地域ならではの内容で、武蔵野市立第四中学校吹奏楽部のみなさんによるミニコンサート、プラスチックリサイクルに関する講演会及び地元野菜の販売です。周辺住民がクリーンセンターに親しみ、環境に関心をもって、一緒に参加できるものにしたという思いを込めました。



### 講演会 「プラスチックとリサイクル」



## 地産地消 地元野菜の販売

地元野菜の販売は、四中吹奏楽部の演奏会に先立って見学者ホールに隣接した回廊にて行われました。

地元野菜を楽しみにしている方も多く、今回も大人数で野菜を求める行列ができました。野菜は、旬の大根・キャベツ・白菜・ネギ・ジャガイモ・ブロッコリーなど、一個(包)100円で、用意した合計200個がまたたく間に売り切れました。

新鮮な野菜を手ニコニコとクリーンセンターを後にするみなさんの様子を見ていると、「地産地消」という環境に対して理想的な取り組みであり、地域の方々と一緒につくる地域ならではの催しになったのではないかと、クリーンセンターのイベントとしてあるべき姿の一つを実現できたのではないかと思います。

すばらしい演奏に聴き入る会場いっぱいのお客さん。



## 環境に関する講演会 プラスチックとリサイクル

ミニコンサートの次は環境に関する講演会。テーマは、「今や世界的な問題である『プラスチックとリサイクル』について」。やや専門的な内容でしたが、演奏会に来られた方々は地元野菜販売の方へ行かれたのか、ホールを後にする方が多く残念でした。

講師は、一般社団法人プラスチック循環利用協会の鈴木雅夫氏。1時間以上にわたって、公表された国内外の豊富なデータをもとに、レジ袋など市民生活に密接に関わるプラスチック製品の功罪(メリット・デメリット)について詳細に解説されました。

当初、この講演会の内容は「いかにプラスチック製品などのごみを減らすか」ということに焦点が当てられるのかと思いきや、鈴木氏はプラスチック製品の原料や工程、果ては利用後の処理に至るまで、プラスチックなしには成り立たないほど、生活の中いかに多様に展開されているかを語りました。

新鮮！  
安い！



地元野菜は  
大人気！  
行列ができました

旬の野菜が  
いっぱい

## 武蔵野第四中学校吹奏楽部 ミニコンサート

四中吹奏楽部33名によるミニコンサート。周辺地域の子どもたちの演奏は人気があり、見学者ホールがほぼ満席になる88名の来場があり、みなさん熱心に演奏に耳を傾けていました。

曲目はディズニー映画「アラジン」の劇中歌、人気アイドルグループ嵐のヒット曲メロデーなどで、ソロパートの演奏もあり、鳴り止まぬ拍手に会場は温かな雰囲気になりました。アンコール曲も演奏され、たいへん盛り上がりました。

地球温暖化への警鐘が鳴らされてしばし、温室効果ガス削減への全世界の取り組みも注視される中で、「環境にやさしい」、「環境に良い」といったことへの客観的な根拠を示す指標としてLCA(Life Cycle Assessment)※という考え方があることも言及されたことは、今後プラスチックごみの削減・再利用を考える上で、大変重要なことを示唆していると思われました。

注：LCA(Life Cycle Assessment)  
ライフサイクルアセスメント  
製品やサービスが、製造から廃棄されるまでのあらゆる段階で、環境にどのような影響を与えたかを評価する方法のこと。

ご協力いただいた武蔵野市立第四中学校吹奏楽部のみなさん、また地元野菜を安く低価格でご提供いただいた地元吉祥寺北町の農家の方々に感謝いたします。運営協議会は、今後もクリーンセンターと連携を図りながら、地域の方々と一緒につくる催しを開催していきたいと考えています。

## 資源になるプラスチック類のゆくえ

武蔵野市の各家庭から回収された「資源ごみ」は、瑞穂町にあるリサイクル工場(加藤商事西多摩支店リサイクルプラント)に運ばれ、資源として使えるように、さらに選別・加工などの中間処理を行って素材化し、それぞれの工場へ運ばれます。



### リサイクル工場(資源=素材にする)

#### その他プラスチック容器包装

##### ●破袋・選別

ごみの入った袋を手で破き、資源にならない異物を取り除いていく。汚れていたり、タバコの吸い殻などのごみが入れているものは資源にできないため、約1割がクリーンセンターに送り返されている。



##### プラスチック容器包装類 ●圧縮・梱包



ベルトコンベアーに乗せて機械に投入され、均一サイズにプレス加工してからバンドでしばられる。さらに飛散防止のため、ラップで巻いてまとめる。

##### 発泡スチロール製白色トレイ ●溶融・固化



発泡スチロール製の白色トレイは選別され、約150~160度の熱で溶かしたあと、固める。

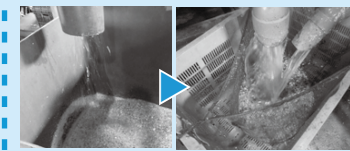
#### ペットボトル

##### ◆破袋・選別



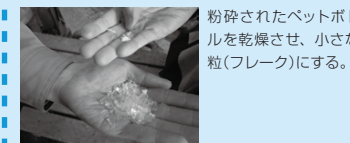
手で袋を破いて大きな異物を取り除き、一度圧縮、梱包する。その固まりを再びばらばらにほぐして、ベルトコンベアーに乗せ、手作業でさらに異物を取り除く。

##### ◆粉砕・風力選別・洗浄・比重分離



プロペラ状のカッターで細かく砕いて、風力で細かいラベルを吹き飛ばす。繰り返し洗浄して確実に汚れを落とす。比重の重いペットボトルは水槽の底に沈む。比重が軽い粉砕したキャップは浮かび、取り除かれる。

##### ◆脱水・乾燥・フレーク化



粉砕されたペットボトルを乾燥させ、小さな粒(フレーク)にする。

別の工場へ



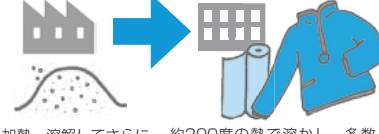
化学燃料やプラスチック製品の原料として使われる。

別の工場へ



新しい白色トレイ容器が作られる。

別の工場へ



加熱・溶解してさらに小さい粒にして、利用メーカーへ。  
約200度の熱で溶かし、多数の小さな穴から押し出して糸にして、繊維製品にする。